けふ各界代表を招待

英軍マガル島

國語普及運動要綱

敗戦の米佛に上陸を强辯

スカル勝上原間題につき五日夜ア來電によれば米國々弥高はマダガ

無防備を攻撃

生を遂げるべきときが来るのだソスの名譽を守れ、英國が大往 社長 岡崎忠雄

米船またも撃沈

派恵高は五日城合属側線配三数が、した言教奏したシットン來館によれば、アメリカ | 徴水酸により無電英献により無電英献により無電英献により無電英献におり無い。

海賊的行動を破れ

板垣軍司令官訪問の楊特使(右)

半島の進展に驚嘆

に積極行動を開始する冒暗示した 決意を固めたより、嘘く米鵬勢管がたは五日の素質においてアメリカは佛質マルチニックに對し近い将來決意を固めたより、嘘く米鵬勢管がたは五日の素質においてアメリカは佛質マルチニックに對し近い将來プエノスアイレス特電【五日發】ヮシントシ来需米英側は愈よ全面的佛質植民地攻塞に乗出す

事情を報告

帰領マルチニツクを收奪か

楊特使、記者團に語る







たのは富然のことであり、始に、一臓の指軍がかけられて 政治體制新しき巨歩 創意と盡力を希望す 題として一朝一夕に解伏さるべ

悪的意識を脱却し鏖國一體の姿において急速に確立されるものと見られる 協力は當然の責務 「ます、あらゆる派閥と因習とを打破して清新强力なる新政治體制の確立にあることを如實に示すも方衆議院から今次總選舉によつて護出された新人が八名も出席するといふとは今回の政治力の結集は招請狀を發したが、 第454000周潔に到て護衛隊であるに緊然立場を持してあた言論界が積極的に招いている。 1950年の1960年の第10年の1960年の

関係を受けたとするの。 であると同様に製術をはじめ取<mark>し、国際により、正しき側に運動の などを受けたとするの。であると同様に製術をはじめ取ぼし、国際費をと言味電力値との要素は であると同様に製術をはじめ取ぼし、国際費をと言味電力値との要素は であると同様に製術をはじめ取ぼし、国際費者など言味電力値との要素は</mark> 貴院。擧國的結集を期待 は、大東部戦一時間認識に徹する南院運搬の完璧しあり、貴族院も環境的にとれ

米海賊ぶり發揮

米も上陸を承認

たい。 また、 ことのでは、 このでは、 このでは、 このでは、 このでは、 このでは、 このでは、 ことのでは、 ことのでは、 ことのでは、 このでは、 このでは、 このでは、 このでは、 このでは、 こので

動に注目動に注目動に注目

擧主力を撃破か 衡の對ソ攻勢愈よ切迫

に歌歌しもつばらとの間跡に當ら、コの現底を根本的に駆動せしめる。 て変動地 たるアフ・側は最近アラン高便を駐米大便館、もか、はらず米英側はもはやトル・てリオジャネイ

顔である、従つてとの自然の條件

太平洋會議重慶の提案

獨軍司令部發表 各戰線戰果

工作活潑化

長器廠はいま何處! ざるものとされてゐるのは、最近艦上衆域になって懲りまして

盛了メリカである。数府も繋いて大戦まで復興に出るやらラジオを必難の繋が主婦地からあげられてゐるのであります。 そこは女の

区職を期してゐると れを緊係し、世界 はいへまだり







州東中郷重

ラク、わが三谷大便、クルグ・ファチリカ代理大便ピンクニイ・バロスで使ベルター・スツッキはスイス公使ベルター・スツッキ

漢銀二一千餘圓 製産初の適用

高大松, 高大松, 鳥(紫)

賣出僧格 | ロョッキ五百圓(非込ん幾日)

圖別所與)二和金黃 店支城京 **▽**/四二三炔尼点振・一五三八本品電

受益證券第六次賣出

他の中に丁生士 「上海院局」 大東 中 は説のの利益を得る 操い機能をようから出るの利益を得る 操い機能をようから出るの間 大東中 中心に対しているの間の中に丁生士 「上海院局」 大東亜維護とつれて飛馬さる事

ります。ります。

瑞典船を傭船東阿へ 外國使臣と會談

審查委員會設置

高島(紫)

信託期日 五 ケ 年 豫定照當 年四分八厘見當

申込證據金一口ニッキ五百圖(婦込金三充常

絹織物の移入寅績ー 一調査に完璧を期す

衰弱兒童に

米飛行士恐怖病

Lta要Nath恐t血溢腦

でんな症状あればる血液に御注意 頭が車く動悸・息切れや肩挺りとか舌もつれゃ

手足與れ痛み夜分眠れず常に血壓高き人

病原さへ解れば 手當も自とわかる

す。常研究所は右の病理に基一方は是非一度お試しあれ。ぐことが出來るのでありま一して居りますから、お僕み

けてゆく りたいほど美しい子供の生活が展

自然に引出す天性

ろれ、おやアとれはし のに一人でお樹原をしてゐるとと あくまで、子供の生活、は尊重

朝十時一

いたつた、自分もあのやうにして一着かは、とのやりにして響けは自 分で自分を伸ばしてゆくーー

「働いれ、強い子は泣いたりなん れたやうな厳しさだ



す、原位に関して戦態する方法をオームなどといふものに 拘泥せ

際娘が始まる。子供の南手

念に影響を動かし、今にも何かし

出来上つた種をみんなの前に選げ 直くにはそれを叱つたりはしない

金子伯依然重態

工具・建築・土木兵器・航空・機器

御挨拶

子供に知らせ、子供のところに自 くはかの隣の中に溢れてゐるのを

ニキビ取つた話!

蔵式を行つた京原文の曹『子供年活版』では、五線から七線までの子供約四十名を一選一日世の手からあづかり、全く産仕的に動く――日曜しに加重されゆく総後の任勢の中で常見の間線は明賞に世に譲る、幼児監証けか生れ、子供生活域がつぎつぎと生れた。五月

MENT 前の初日に開献式を行った京城友の曹『子供年活版』では、125年既を育てるか──日増しに加重されゆく前後の中断の中で育兄

幼さ建設者」はかく育つ「緊
語

上 はならないといっととは最

は、職を聞かして刃類に抗に乗り をり巻いた廿人あまりの子供たち ご要別の路の膨胀の下で、先生を

本の強い子ばかりだったのねし

を來るとき電車の中で泣いた人は 「さう、泣いてるのね、をかしい

うに一人で出来るのね、みんな目

「膨いのね、みんなこの締のや「関も出来るよ」と男の子

心いてるわり

脚を誘導し、集中して、それを生

結の基本的な行為へと結びつけて

V現れる。中には自分のはい、か

天きく成長した。大黒部十一歳の人々を明つれて世界の交配を打ち継てるためには、手吹ももはや戦にク寒の費々だけではいけな

國民の歌戦なる身體と戦争な はこれが影響者を飛ぶ、一般国民の歌戦なる身體と戦争な 国際の曹長を奉るが、各国で日だ、大東弥戦を勝ち扱く墓 国際の曹長を奉るが、各国で国民の政策を持た。

最終日に漏る徹民の離叫びに

都能記』無風鬼かな泉浴に武・闘選・創書祭の御のち再び武・

梨本宮殿下 武徳祭に御成り

のがこれに答べられなかつたといるのもの多數あり、層洋にゐる生態人の過度という。 心容関的な質別もたびく起され

本府に開かれた第四十四回縁匿植・き貨職がもつとも成績が思いのでつ、ある國群部用に関し、六日一ると、砂核にも忠戦に戦を垂るべ

たて、 野族にも広歌に観な垂るべ、ことになり、また単生、生命、 見作 中の 明めを見 歌願真に夢先して國歌を照用するといなり、また単生、生命、 見とにしたのをはじめ、 各選談会

下本献を支懲せり、人畜に死働なり事七十二階級物卵軍が脱線し上

ネクタイは

七日間、脚窓 階を起された 中心に先づ家屋内外の軽岐。 強矣をつくれ 数下の影響だ、この日の汚形 に當つては府轄市備課と協力

庭の側心を喚起させるなど、 **心器、販売がいいに関す** 校では適當の時日を強んで消 の開心を喚起する。また各様

さあ隈なく大掃除 ける環境衞生改善日



郷郷の脳をつらけ皇大命官、宮城一分釜山に上城、釜山と大田で、曹麗かをる領れの内地に二栗間の一総者につれられて六日朝七時 深く肝に銘じた 聖地の森嚴

く生なくまはつて融緬日本の組織と即れ、午後五時三十分なつかしをはしめ寄り東京し西の各窓地を、北、忠南北、全南北の十二代表品館 W、個調三夜の完重と開張の疾患 離曲配調で出述への京城海侯、 ・ 量めやらロ駅制に双瀬を削かせ、

五月の大部室城日、八日の町浦部五月の大部室城日、八日の町浦部 大部奉戴日に







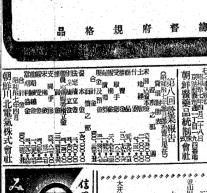




ヨよットと 製圖 製計と











國語常用の家は表彰

陛下より賜りたる令旨および赤十字社第五十回郷曾に呈旨

「東京電話」大日墨行の日本

総曹へ行啓の皇后随下

が記載に関すの奉答文左の

皇后陛下ノ線滅チ驛ウシ優勝曾ヶ朔クニ方リ

た、なほこの他権機的な事及方法といなっといっといるといなっといっといることになっといっている。

難及に功労のあった者を表彰し

急行電車がどかん

間に破突、電車乗客の京城孔源町

トラツクの横腹へ

優先的な意味を振び、國 た公職その他の就職及びその符

反前から青葉町方畝へカーアの総「総院に置き込んだか心臓機裂のた」とれまで度々の不能更を示していた。 | 山臓手魚器単長(こしん) | 「他親」・心臓手魚器単長(こしん) | 「他親」を続け、直らに赤十字

興亞の桃太郎三百卅五名

日赤の入選乳幼兄あす表彰式

[名古屋電話] 名懸尉六日午後五

東海道本線で脱線

は主義は一人供奉申上げ宮

畏

し令旨を賜ふ

皇后陛下、日赤總會へ行啓

五種のでは、 京職選加率部民・同は、自然り建 加平郡民の議

人の忌明に際し一千圓を国兵金 一通二機管は下級坂機政器長は

て三千圓献金

忌明に一千山 京城光化

かに含言を賜ひ焼浣鯛郷

とくて 同十一時 降下には國

先つ高專校の對抗競技全廢

掛ひきつた戯脈に、野球やラグ

い光明となつて聞くことだらう

第三日の武德祭

一千四百萬、みな眞の皇民へ

全鮮に國語普及の大運動

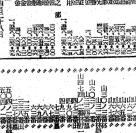
啞ではごう 解) | 名 保(景都)

大きな風呂敷包を掴へて通る

きつてある









料 医質 社排 預報

國證券時報欣呈

健氣な、皆勞夫人

東大門署へタイピスト志願

商店 三八太郎。同五五七本商品 築費を寄附 ノル三川城東署へ新 閉米部三

日常生活における解験作法一ゐる

全な小國民の育成に指軍をかけて

注射を實施

の

赤道

廖

出來る「中區」鍾路區」 府政調査會都政部委員會で討議 今秋までに區制を實現

妙な流行の一つに

班員の愛惜一入

走月中 頃には占 躍か

慈父、川岸さんの横顔を語る 大梅西部第六區町總代

止の座談會

教利商人へお灸 西大門

交通訓練の週間

水登浦署の行事決定

の育成に拍車 他全な小國民 の理事長に述べられて勇職原京青年曜一の指導機関である概要

拍車をかける 『一坪園藝』に

語なくして職務なし 京城中央電話局・全解に拍車

輸器を献納城東原原

居住の標山歌子さんで記書

女性は雷らく家庭に入り、家庭で は料理の調節に懸達してゐなけれ

『家政女塾』で全生徒に强調

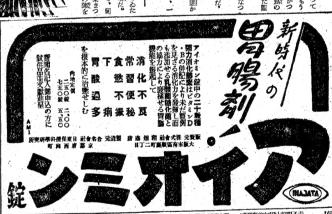
事を附近の交番へ引つ立てた てして談音に「私の書分が と、また、車等に回

の調理法

は家庭園師は勿論、剛全な子

ラシオ





洗髪が一気に厚はつてきた でれてをる野獣でありまして喧「獣狐を素化で銀匠します。 されてをる野獣でありまして喧「獣狐を素化で銀匠します。 だの総派に對によく切くと解釋 (神郎ひろになれば喉波楽や艦 代の総派に對によく切くと解釋 (神郎ひろになれば喉波楽や艦 代記の はいまします。 高血 壓化

作【85】

空间间膜炎性注码 战职物的角膜计影眼不未 针别明 排音定 商品品 貸價 網板 機質 经分 外域银票 海市立 置 经变 工消 獨工 本 價 四 金仓金金形 少金亚之 科明企图络全观归用本 在

和我外地方法院、寒寒文明七年四月哈六日受社

女中さん募集
女中さん募集
一部第一日川温泉ホテル

新富座

四書福味書待器の上來暫有り 女子事務員 美集

鐵鋼統制會

戦・國群、盗事

では、 ・ は、 ・ は、

1.

多い貸家斡旋の闇 斷乎取締りに乘出す

两扁腹肋氣 枕膜膜 枝袋炎炎炎

鎮痛 消炎の作用を対する 単に解析する 単に解析

海元則 医学博士 **洪鋆皇珍** 電光 3053

勞務供給社請負

タイピスト採用 奥公楽 年1上の標準書を採用 本準のコンにOIII 京城化學工業紙 京城化學工業紙

特别案内

家庭《海流》

京城府公平町 一元東貿易株式會社 ※ 京城府公平町 一元東貿易株式會社 ※ 京城府公平町 一元東貿易株式會社

マ敗戦を追及

車慶元老、英軍を痛罵

殘敵の運命絕望

〇〇基地特電【四日發】とルフに指するる がリス軍の活動を全く印度内に封じたことを意味し、カルカツル群は医療がら働かにも二厘カルカツタまで三百五十キロの温廉にあり、ビルマ四四番は医療がら働からでする混乱に陥つてゐる

附近のアキャブ飛行場を占領せり

大本營發表(五月六日午前十時十分)ビルマ方面帝國陸軍部隊は五月四日緬印國境



正化

法

皰

P-171

治療の要諦であります。 は其化學的純度高きものを採るこごが は其化學的純度高きものを採るこごが は其化學的純度高きものを採るこごが 化騰蘭に對して劇期的治効を脳はれて

程实起炎、中耳炎、扁桃腺炎等、骨膜炎、宁、感胃 應症



大阪市市温泉東町二丁員 大阪市市温泉東町二丁員 大阪市島 稲 雄 唐 眉 林 東 唐 出町

においてイギリス軍により撃沈された 潜水艦および 補給艦各一隻はマダガスカル島附近においてイギリス軍により撃沈された

楊特使(右)京城驛頭感激の握手

総聯總長引繼ぎ

板垣軍司令官、

中支各基地にも巨弾

市田大佐ら進級

壯烈南方作戰に自爆

健康で家は明るく國强

マンダレー攻略第一報人隊一陸軍

明武御残されたもの元禄数奇の 平他行 加 れたもの れたもの 帖子灯腾記新の傳

泉メンソータ会議

總板錢板變板錢板錢板錢板圓版錢饭 聖書 房 書 川 奥 町稲庵田野京東 電子 目了一

て、軍職へ官

観化等 盛や界か 薄吹陽 そら証 け ぶ 出や 後下疾痛ど傷れ 虫物け

平穏な青空 今日一日 身體を鍛へる

有難う人

劇

場